

# 2050年担い手塾

～身近なところから生物多様性を考えよう!～

日時	内容	場所
<b>11/16</b> 11:30～16:30 集合時間 <b>11:30</b>	<b>人與人・人と自然のコミュニケーション</b> 干潟で生き物たちとおしゃべり!? 講師 辻淳夫 (NPO 法人藤前干潟を守る会) 高野雅夫 (名古屋大学准教授) 持ち物 筆記用具・昼食・タオル	藤前活動センター 集合場所 あおなみ線 野跡駅出口
<b>12/23</b> 13:30～16:30	<b>生物多様性と持続可能性</b> 生き物たちと ともに生きていくとは?	つながれっと NAGOYA セミナールーム1
<b>1/17</b> 13:30～16:30	<b>人間の暮らしの多様性</b> 世界の人々と ともに生きていくとは?	参加申込者に 後日ご連絡します
<b>2/7</b> 13:30～16:30	<b>地域のテーマと                      自分のテーマ</b> このまちが大好きだから考え続けたい。	参加申込者に 後日ご連絡します

**申込締切 (1次) 11月7日**

申込み・問合せ先  
**NPO法人 地域の未来・志援センター**  
 担当: 都筑  
 TEL: 052-331-6141 FAX: 052-339-5651  
 E-mail: office@c-mirai.org URL: http://www.c-mirai.org/

## 保護者 / 教職員 / NPO 関係者の皆様へ

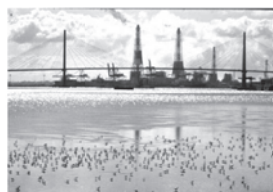
### 2050年担い手塾とは・・・?

COP10の開催を控えた名古屋。2050年の担い手たちに、より深い環境への理解と、自分たちで対話をしながら意見をまとめ未来を切り開いていく力を身につけてほしい。一流の講師陣と大学生アシスタントをそろえて、学校では学べない高いレベルのプログラムを提供します。

- ・50年後も生きている中高生こそ、50年後の社会を決める決定権を持っているはず
  - ・“エコ”に関する情報が錯綜している今だから、中高生にもより専門性の高い環境教育を受けさせたい
  - ・環境に対しての意識が感じられる中高生が、より自ら考え主体的に行動するきっかけがほしい
  - ・でも、楽しくワクワク感のある内容じゃないと中高生には響かない…
- そういった思いに答える講座内容となっています。

### 第一回キーワード

## 藤前干潟ってなに…?



藤前干潟は、名古屋港の臨海工業開発の中で残された、日本最大級の渡り鳥渡来地です。干潟には鳥たちの餌となるカニやゴカイや小魚がたくさんいて、渡り鳥たちの休息と栄養補給の、大切な中継地になっています。

当日の詳しいスケジュールや、集合場所等は、参加が決定した方にE-mailまたは郵送にて、順次お知らせいたします。

**申込用紙 (FAX: 052-339-5651) 地域の未来・志援センター 宛**

ふりがな お名前	ふりがな 学校名	
連絡先	住所 〒	
	電話番号	FAX番号
	E-mail(パソコン)	E-mail(携帯)
受講の動機	子どもの頃(3歳~12歳くらい) ふだんどんな場所で遊びましたか? <input type="checkbox"/> 室内 <input type="checkbox"/> グラウンド・公園 <input type="checkbox"/> 川 <input type="checkbox"/> 田んぼ <input type="checkbox"/> 雑木林 <input type="checkbox"/> お寺・神社 <input type="checkbox"/> 海 <input type="checkbox"/> 池 <input type="checkbox"/> ゲームセンター <input type="checkbox"/> その他 [ ]	
講座を知ったきっかけ		